

コンセントによって起こる火災は、**自宅の火災の中でも多く発生している**ものです。電気機器の使用の有無にかかわらず、コンセントに電源プラグを接続しているときには通電しており、感電や火災の危険があります。いつ起こるかわからないコンセント火災の種類と予防策について、簡単にわかりやすく説明します。



### コンセント火災の種類

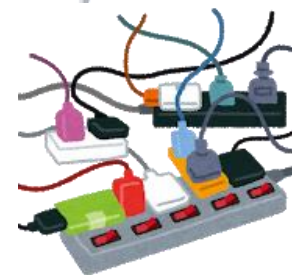
#### ◎トラッキング火災

洗濯機や冷蔵庫など**長い間プラグを差し込んだままで使っていると起こりやすい**。キッチンや洗面所付近など**湿気が多い場所**で起こる可能性があります。



#### ◎たこ足配線火災

1ヵ所のコンセントの許容量を超える**電気器具をつないで使用している**と、**コンセントが過熱して火災につながる**可能性があります。



#### ◎配線コード火災

**劣化や傷のある配線コードを使用したり、コードが長いからと束ねた状態で使用している**と、その部分に**負荷がかかり、火災につながる**可能性があります。

### コンセント火災の予防策

- ・定期的に**プラグを抜いて**付着したホコリなどを掃除する
- ・コンセントの許容量を超える「**たこ足配線**」に**注意**する
- ・電源プラグを抜くときは**必ずプラグ本体を持って抜く**
- ・傷のついたコードは交換し、**束ねた状態で使用**したり**コードの上に重いもの**を置いたりしない

### まとめ

コンセント火災は簡単に消すことができないので、火災が起こってしまう前に先ほど説明した予防策を徹底する必要があります。火災が**起こってしまったからでは遅いので**、皆さんも家でよく確認しましょう。